

グループハウスおちあい 地域連携推進会議議事録

日時：令和7年12月13日（土） 15:00～16:30

会場：デイセンターまにわ 活動室

（見学：共同生活住居 ローズマリー）

出席者：S（地域の関係者）、F（家族）、T（利用者）

森岡大輔（グループハウスおちあい管理者）

越智達也（デイセンターまにわ生活支援員）

横浜秀之（法人理事）

協議内容：

1. 事業所概要について

・食堂にテレビを設置しているが、食事中的テレビ視聴は検討してもよいのではないか。

→一律の対応が必ずしもよいとは思わないが、利用者と話をしてみる。

・生活上の役割分担はどのようにしているのか。

→掃除、洗濯、配膳などは利用者が分担しており、支援者は難しい箇所をサポートしている。

・仲の悪い利用者など、実際の生活で発生する問題についてはどうしているのか。

→世話人、支援員が間に入り対応し、必要に応じ日中系事業所と連携を取っている。

・共同生活住居でのネット環境はどうなっているのか。

→ネット回線整備はできていない。

・余暇時間、休日については各利用者が各々どうしているのか。

→職員側から一律に提供することは少ない。利用者1人ひとりが趣味を持っている。

ゲームについては、夢中になって生活リズムを崩さないように、日中事業所と連携を取り対応している。

・地域との交流について、具体的にどのような活動への参加があるのか。

地域の人たちの高齢化が深刻。若い人が清掃業など重労働系を担うこともあるので、そうした人手が必要な部分への参加があればより密な関係作りができるのではないか。

→地域行事への参加はしているが、自治活動等への参加はできていない。利用者に情報提供し、自分の想いで地域と関わることができるよう、働きかけを検討していきたい。

2. 共同生活住居見学について

- ・ 個々人の物はどのように管理しているのか、また管理が難しい場合の対応方法はどうしているか。

→ 基本的に個人で対応しているが、一部管理が困難な利用者に対しては世話人が預かり、本人と相談しながら必要に応じてお渡ししている。

- ・ 廊下など照明器具が少なく、夜間暗くて危ないことはないか。

→ 大家にも相談し、改善について検討したい。

3. 事業所の取り組み、課題について

- ・ 建物の老朽化、それに伴う健康面での課題が見えて心配である。壁のヒビ、床の浮き沈み、脱衣所や浴室の温度管理機器不足によるヒートショック対策、難しい部分もあると思うが検討が必要ではないかと感じた。

→ 住居の老朽化は課題と認識している。大家との調整、金銭的な問題など課題もあるが、できるところから改善は進めていきたい。

- ・ 高齢化などによる重度化で、グループホームでの生活が困難になった場合にはどのような方向性があるのか。

→ 法人内で重度対象とした別のグループホーム事業、入所施設等が考えられる。